

園だより ふくろ 12月号

げんきな子ども

やさしい子ども

がんばる子ども

北区立ふくろ幼稚園

考えを言葉にする楽しさ

園長 篠澤 恵理

年少こりす組の子どもたちは、空箱にゴムのタイヤを付けて動く車を作りました。リスやリスの家も作って道路でつなぐと、部屋中が街のようになりました。車にリスを乗せて遊ぶうちに、「廊下から、あっち（玄関ホール）まで（道をつなげてみたら、どうなるかな。」とつぶやいた子がいました。つぶやいたものの、どうしていいのか分からずにいると、状況を見た担任は、すぐにその子の思いを理解し、板積木をつなげて道にしていけることを提案しました。つぶやいたときに、使いたい材料があることはもちろんですが、そのつぶやきに耳を傾けながら、思いが達成できるように支える担任とのやり取りが大切であったと感じます。担任が、子どもたちの言葉にならない思いを引き出し、単語をつなぎ合わせながら共感したので、子どもたちは、考えたことを言葉にすることが楽しいと感じたと思います。

年長もり組の子どもたちは、松ぼっくりで作ったフクロウのために、家も作成しました。段ボールの土台に、木片で机や椅子などを貼り付けたり、ドングリで飾りをつけたりするなど、「こうしたい。」という思いがたくさん詰まった家が出来ました。子どもたちは、家を作りながら、考えたことを話していくうちに、「もっとこうしたい。」という気持ちが次々に膨らんでいました。「新築発表会」として、互いの作品について語り合う場面を設定すると、友達の家にも関心を示し、質問が飛び交いました。工夫したところを質問されて、嬉しそうに答える子もいれば、深く考えずに作ったところを質問されて、その場で意味を付けて説明する子もいました。考えたことを声に出してみると、自分のしたことを振り返る機会になり、考えたことが実現できたことを改めて「楽しい」と感じるようです。また、友達の作品に対する思いを聞いて、新たな考えが浮かんだ子もいました。会話の中で、自分の思っていることを改めて意識すると、また考えたくなるという、よい循環が生まれていました。

今年も残すところ、あと一ヶ月となりました。来年も、心を動かす感動体験が味わえる環境を整え、言葉で考えることが楽しくなるように、子どもたちの思考力の芽生えを支えてまいります。

《今月のめあて》

- | | |
|-------------|--|
| 4歳児
こりす組 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が思ったことを動きや言葉で表したり、友達の思いを聞いたりしながら、関わって遊ぶことを楽しむ。 学級の友達と一緒に取り組む活動に喜んで参加し、自分を伸び伸びと表す。 |
| 5歳児
もり組 | <ul style="list-style-type: none"> 友達との遊びや活動の中で自分の力を発揮し、互いの考えやイメージを受け入れ合いながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう。 友達と一緒に十分に体を動かして遊ぶ中で、友達とのつながりを感じる。 |

今月の歌

☆ おしょうがつ ☆



1 もういくつねると おしょうがつ
おしょうがつには たこあげて
こまをまわして あそびましょう
はやくこいこい おしょうがつ

2 もういくつねると おしょうがつ
おしょうがつには まりついて
おいばねついて あそびましょう
はやくこいこい おしょうがつ